

平成26年9月24日

各位

マネックスグループ株式会社
代表執行役社長 CEO 松本 大
(コード番号 8698 東証第一部)

2015年3月期の中間配当予想に関するお知らせ

2015年3月期の1株当たり中間配当金の予想について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 背景

当社は、成長企業として必要な内部留保を行いつつ、業績連動型の株主還元を実施することを基本方針としております。株主還元の方針として、配当については親会社の所有者に帰属する当期利益に対する配当性向50%またはDOE（株主資本配当率）1%のいずれか高い方を目安とし、中間配当についても実施します。また自己株式取得については機動的な経営判断により実施することとしております。なお、株主資本は資本金、資本剰余金、自己株式及び利益剰余金の合計額とします。

当期の中間配当金の予想については、当第2四半期累計期間の親会社の所有者に帰属する当期利益の水準を踏まえ、DOE（株主資本配当率）1%を基準として「2. 中間配当予想」の記載のとおりとします。

2. 中間配当予想

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
今回予想	1.20	未定	未定
前期（2014年3月期）実績	1,100.00	7.00	—

(注) 当社は2013年10月1日付で普通株式1株を100株に分割する株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の1株当たり配当金は、下記「(ご参考) 株式分割に伴う遡及修正値」をご覧ください。

(ご参考) 株式分割に伴う遡及修正値

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前期（2014年3月期）実績	11.00	7.00	18.00

3. 当期の期末配当金について

当期の期末配当方針は、下期連結利益（※）に対する配当性向50%またはDOE（株主資本配当率）1%のいずれか高い方を目安とする予定です。

なお、前期の期末配当は年間の合計配当額が通期の親会社の所有者に帰属する当期利益に対する配当性向50%となる水準を目安として実施いたしました。

(※) 通期の親会社の所有者に帰属する当期利益から第2四半期累計期間の親会社の所有者に帰属する当期利益を控除した額

以上

【お問合せ先】

マネックスグループ株式会社
経営管理部 IR 担当 町田 電話 03-4323-8698